

# 令和7年度当初予算案



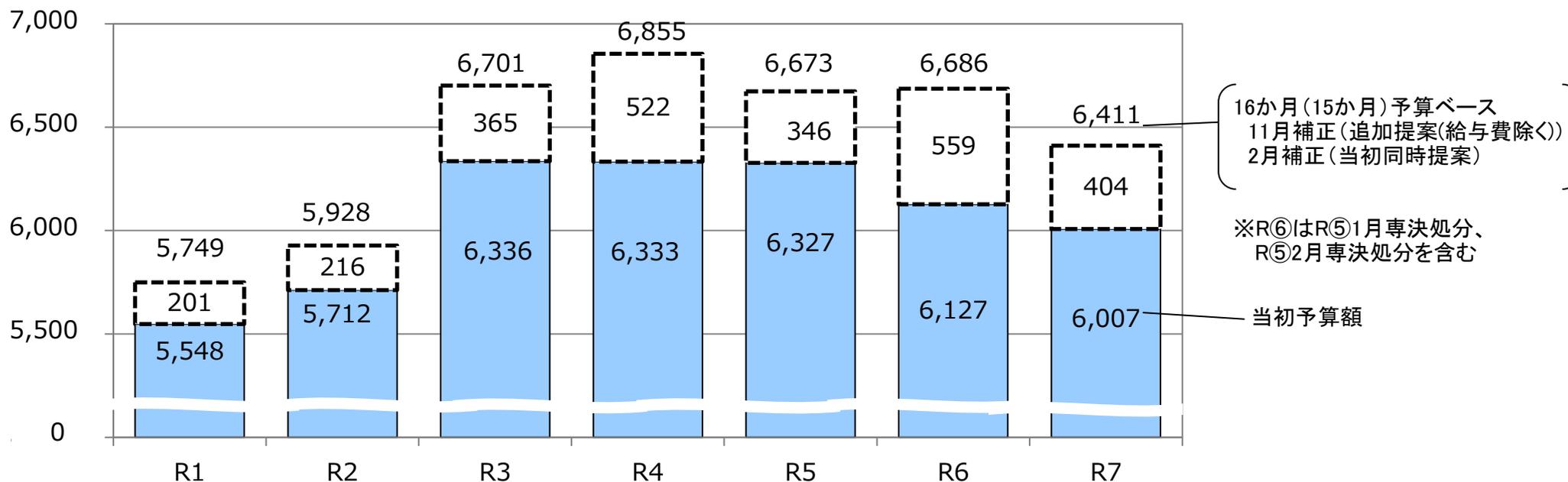
令和7年2月18日

# 予算規模など

令和7年度一般会計当初予算案額 **6,006億6,399万円**  
 (R⑥比▲119億9,154万円、▲2.0%)

併せて令和6年度11月補正予算（追加提案のうち給与費除く309億円）、2月補正予算案（2月議会冒頭提案95億円）を含めた16か月予算ベースでは **6,411億1,282万円** (R⑥比▲275億887万円、▲4.1%)

・コロナ禍で拡大した経費が大きく減少（ビヨンドコロナ応援資金などの中小企業制度融資の既往分の残高減）



# 当初予算案のポイント（1）

## 1. 能登半島地震に係る復旧・復興ロードマップへの対応

<54億円>

### ポイント 地域防災力の向上

- ◆各主体との連携体制強化、防災意識向上 「ワンチーム防災」連携推進、県民との防災ミーティング、防災士養成の強化、四季防災館リニューアル など
- ◆避難所生活環境の改善 TKBS（トイレ、キッチン、ベッド、シャワー）の整備、県立学校等の体育館への空調設備整備 など

## 2. 人口未来構想・「人口未来戦略」提言の推進

< 38億円>

### ポイント 人口減少の抑制と適応、関係人口の創出・拡大

- ◆「共働き・共育て」を応援 男性の長期育休取得の促進、家事支援サービス普及、ライフデザインの形成支援 等
- ◆地域おこし協力隊の活用 県として初めて5名を委嘱し、移住促進や観光振興等に活用
- ◆外国人材の活躍・多文化共生 外国人材の活用・定着促進、共生プランの改訂・条例の検討 等
- ◆関係人口拡大の機会創出 大阪・関西万博、「寿司といえば、富山」の展開（寿司学校等）、スポーツコミッション創設、ヘルスケアベンチャー誘致 等
- ◆新総合計画の策定 県民参加により目指す将来像を描き、R7年内の策定を目指す

## 当初予算案のポイント（2）

### 3. 「未来に向けた人づくり」と「新しい社会経済システム」の構築

< 76億円 >

#### ポイント こどもまんなか社会の実現に向けた施策展開

こどもの権利に関する条例検討（R7年度中策定）、こども医療費助成の対象年齢を小学生まで拡充  
富山児童相談所等の着実な整備、こども総合サポートプラザ運営開始（4月～）  
私立高校の授業料をR8年度入学生から段階的に実質無償化（～年収910万円未満世帯）

#### ポイント 教育改革の推進、人材育成

県立高校1人1台端末の保護者負担移行に伴う低所得世帯等への支援、Wi-Fi環境の整備充実  
スクールソーシャルワーカーの配置を大幅拡充、高校生等グローバル人材の育成

#### ポイント 本県の強みを生かした新産業戦略の展開

県と地元金融機関により「中小企業成長応援ファンド」を造成、中小企業の積極的な取組みを支援  
ものづくり産業のサーキュラーエコノミーを推進、バイオ医薬品専門人材を育成

#### ポイント インバウンド誘客促進、農林水産物の海外展開

欧米豪への誘客プロモーションを強化、特に北米市場へは知事によるトップセールスを実施  
高付加価値宿泊施設への補助制度を創設、市町村や近隣県等と連携した農林水産物の輸出拡大

# 当初予算案のポイント（3）

## 4. 既存事業の抜本的見直し・再構築

長年にわたり継続している事業について、一旦廃止又は停止を検討し、スクラップ・アンド・ビルドの一層の徹底を図るとともに、部局ごとの見直し目標額を設定することで、既存の事業本数の2割削減を目指す



- ・見直し効果額：事業費ベースで33億円（R⑥17.7億円）
- ・見直し本数：1,046事業を見直し うち、廃止・停止 602事業（対象2,553事業の**23.6%**を削減）

### 【主な取組み事例】

#### ○アジア高度人材受入事業などの見直し(商労)

- ・従来より幅広い国々から人材を獲得するため、複数の人材紹介会社に参加できるよう事業スキームを見直したうえで、「とやま外国人材活用支援デスク」事業と統合

#### ○国際観光推進事業の見直し(地創)

- ・インバウンドの動向を踏まえ、重点的にプロモーションに取り組む市場を見直し、欧米豪からの誘客を強化

#### ○森林関連イベントの見直し（農水）

- ・これまで別々に開催していた、「とやま森の祭典」、「とやま木育フェア」、「とやまの森づくりボランティアの集い」を合同で開催

#### ○鉄軌道王国とやまHPの廃止(交通)

- ・これまでの専用HPでの情報発信から、今後はより幅広い層への周知を図るため、「とやま観光ナビ」を活用し観光情報も含め総合的にPRすることとし、従来の専用HPは廃止

#### ○エシカル消費PR事業の廃止（生環）

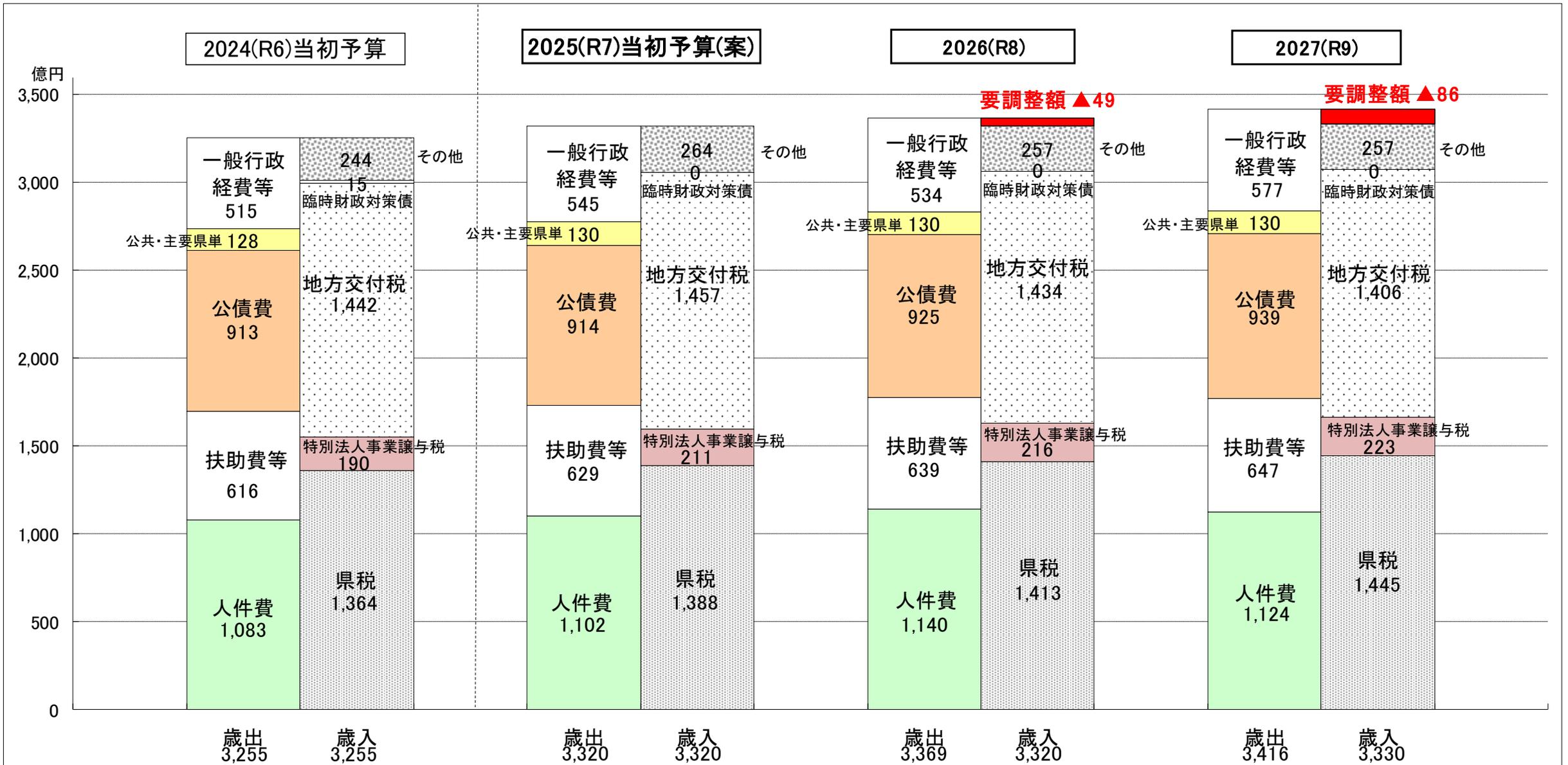
- ・一般向けの広告やシンポジウムなどのPR事業を廃止し、新たに、学校等にアドバイザーを派遣し、能動的な消費者教育を行う

#### ○車両保管場所標章の交付廃止（警察）

- ・車両の保管場所情報に関するデータベースの整備に伴い、県民の利便性向上と行政事務の軽減のため保管場所標章の交付を廃止

# （参考）中期的な財政見通し

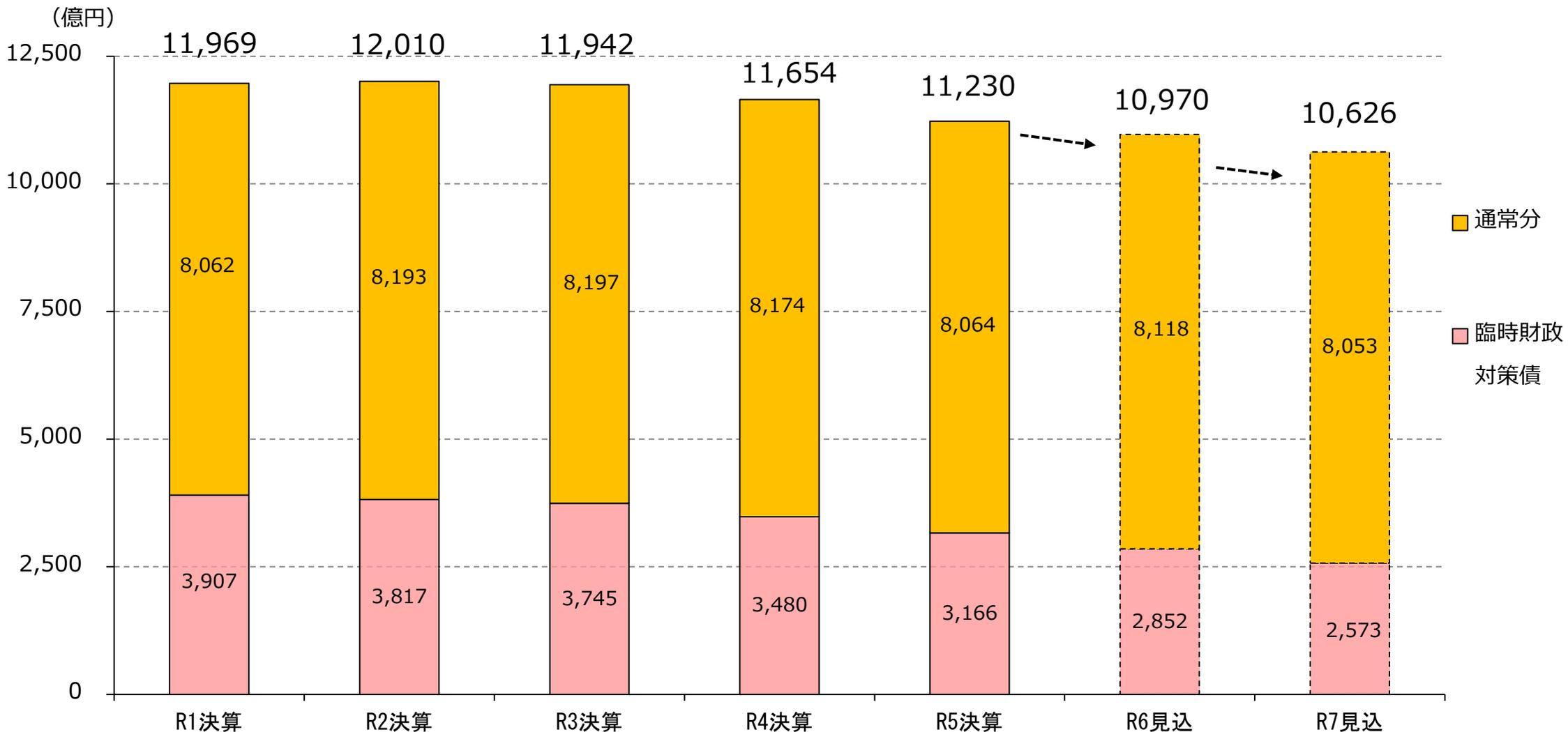
※令和7年2月試算、一般財源ベース



(注) 端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。県税は、都道府県間清算及び市町村交付金交付後の実質税込ベース。R6当初の県税には個人県民税定額減税に係る地方特例交付金を含む。

# （参考）県債残高の見通し

県債残高は、防災・減災・国土強靱化対策等で増加するものの、臨時財政対策債の償還が進むため、引き続き減少する見通し



※R7は当初予算起債見込額のみ計上

# 能登半島地震に係る復旧・復興ロードマップへの対応



## 災害対応検証を踏まえた地域防災力の向上

### ワンチーム – 県・市町村・関係機関の連携強化 –

#### ①ワンチーム防災連携推進事業 150万円

災害時の行政（県・市町村）と民間団体との連携体制を強化するため、役割分担や災害ケースマネジメント等を協議

#### ②災害対応用資機材整備事業 600万円

災害時に県内の市町村に派遣するリエゾン（連絡調整員）の活動の迅速化等に向けた資機材の整備



災害対応検証会議

### 人づくり – 職員や防災士、自主防災組織等の災害対応力の向上 –

#### ①災害対応能力向上事業 330万円

職員の災害対応能力を強化するため、市町村との「チームとやま研修」や北陸三県での合同研修等を実施

#### ②防災士養成事業 1,750万円

地域の「共助」の担い手となる防災士の養成を強化するため、養成研修の実施回数を拡充



防災士養成研修

### D X – デジタル技術の活用による災害対応の迅速化・効率化等 –

#### ①次世代衛星通信サービス導入事業 420万円

災害時における対策本部の通信障害の発生に備え、情報収集・伝達の手段を確保するため、次世代衛星通信サービスを導入

#### ②総合防災情報システム防災情報発信強化事業 700万円

効率的な被害状況等の情報収集・共有体制を構築するため、内閣府の新総合防災情報システム（SOBO-WEB）と県総合防災情報システムを連携

# 能登半島地震に係る復旧・復興ロードマップへの対応

## 高品質 – 避難所環境の改善など –

### ① 避難所生活環境改善事業 1億2,600万円【R⑥.2補正】

避難所の生活環境を抜本的に改善するため、TKBS（トイレ、キッチン、ベッド、シャワー）を導入

### ② 高校等体育館空調設備整備促進事業 5,540万円

高校等の体育館を避難所として活用するため、県立学校の空調設備の導入に向けた基本設計等と私立高校の空調設備導入の支援

### ③ 災害時の生活用水確保のための井戸の活用

- ・災害時の生活用水を確保するため、市町村が実施する防災井戸整備を支援（600万円）
- ・県が所有する既設井戸情報を整理し、市町村における災害時協力井戸の選定を支援（350万円）



導入を予定するトイレカー

## 官民連携 – 民間団体や県民参加の災害対応の促進 –

### ① 県民との防災ミーティング事業 400万円

災害対応検証会議の成果を県民と共有し、地域住民による主体的な防災活動の実践に繋げるための対話を実施

### ② 災害救援ボランティア連携体制整備支援事業 580万円

県や市町村の災害救援ボランティアセンターの災害対応力を強化するため、運営支援アプリの導入やボランティアの連携体制構築検討会を開催

### ③ 四季防災館リニューアル整備費 3億1,000万円【R⑥.2補正】

能登半島地震を伝承するとともに、県民の防災意識の向上を図るため、四季防災館のリニューアル（R8春を予定）を実施



四季防災館のリニューアル  
（イメージ）

# 能登半島地震に係る復旧・復興ロードマップへの対応

## くらし・生活の再建

### ① 宅地液状化等復旧支援事業 1億8,500万円

液状化被害を受けた宅地の地盤改良等の復旧に対する支援

### ② 自宅再建利子助成事業 3億7,000万円

地震により被害を受けた自宅を新築、購入又は補修するために融資を受けた場合の借入額の利子分を助成

### ③ 安全・安心とやまの住まい耐震化等促進事業 2億770万円

木造住宅の耐震化を促進するため、耐震改修や建替・耐震補強の補助額の引上げや新たに耐震シェルターの設置を支援

### ④ 環水公園を中心とした復興エール事業 1,800万円

能登半島地震からの復興への想いを込めて富岩運河環水公園においてイルミネーション等を実施



液状化の被害

## 公共インフラ等の復旧

### ① 県総合福祉会館災害復旧事業 5億960万円

能登半島地震により損傷した建物の復旧工事と入居団体の一時移転等により必要な経費を助成

### ② 能登半島地震水産資源影響調査事業 580万円

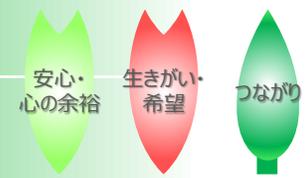
能登半島地震後の富山湾における海洋環境や水産資源の回復状況を把握するための調査を実施

### ③ 国指定文化財災害復旧支援事業 2,099万円

能登半島地震により被災した国宝瑞龍寺や国宝勝興寺など、国指定等文化財の復旧を支援



水産資源影響調査の様子



# 能登半島地震に係る復旧・復興ロードマップへの対応

## 地域産業の再生

### ① なりわい再建支援事業 18億5,000万円【R⑥.11補正】

被災した中小企業等の施設・設備の復旧等を支援

### ② 黒部・宇奈月誘客強化事業 650万円

黒部宇奈月キャニオンルート的一般開放・旅行商品化に向けたPRの実施や、部分開通となっている黒部峡谷鉄道等の旅行商品の造成支援

### ③ 持続可能な観光地域づくり支援事業 3,000万円

本県の観光資源を活用した旅行商品や観光コンテンツの造成、インバウンド等に対応した受入環境の整備等を支援

### ④ 中小企業制度融資「災害対応資金」の創設 8億円

災害発生時に速やかに中小企業の資金繰りや再建を支援するため、「災害対応資金」を常設（融資枠20億円）



関西圏情報発信拠点「HOKURIKU+」

## 北陸全体の復興に向けた連携

### ① 関西圏情報発信拠点魅力発信推進事業 5,000万円

関西圏情報発信拠点「HOKURIKU+」において、北陸三県での復興をテーマとしたイベント等の開催により北陸全体の魅力を発信

### ② 北陸三県連携観光誘客プロモーション事業 1,000万円

マスメディアを活用した情報発信など北陸三県が連携して様々なプロモーションを展開

### ③ 広域緊急援助隊合同訓練事業 400万円

警察官の救出・救助能力の向上を図るため、中部管区6県による広域緊急援助隊合同訓練を実施

# 人口未来構想と「人口未来戦略」提言の推進

## 自分の生き方を主体的に選択できるとやまの実現 – 自然減の抑制 –

### ① ライフデザインセミナー開催事業 520万円

若い世代のライフデザインの形成を支援するため、就職や結婚、子育て等のライフイベントを学ぶセミナーを開催



つながる、ひろがる、わたしの明日

### ② 「福利厚生×出会い応援」官民連携事業 2,700万円

従業員の出会いや結婚を応援する企業等を支援するため、福利厚生サービスとして県内企業等が活用できるマッチングアプリを構築

### ③ とやま出会いサポート事業 570万円

出会いや結婚を希望する若者を支援するため、大規模婚活イベントの開催や婚活支援セミナー等を開催

### ④ 男性の育児休業取得促進事業 5,000万円

男性のより長期の育児休業取得を促進するため、取得期間に応じて段階的に設定した助成金を男性従業員を雇用する中小企業等に対し交付  
(取得期間3か月以上の場合、従来の10万円から20万円に拡充)



### ⑤ 「福利厚生×家事支援」普及啓発事業 100万円

働く世代の家事負担の軽減を図るため、県内企業の福利厚生による家事支援サービスの普及促進に向けた啓発セミナーを開催

### ⑥ 子育て支援・少子化対策計画普及啓発事業 200万円

子育て支援や少子化対策の充実に向けた気運醸成を図るため、子育て支援・少子化対策に関する新たな基本計画について県内全域に広く普及啓発

# 人口未来構想と「人口未来戦略」提言の推進

## 県民が誇りと愛着をもち、県外の人から選ばれるとやまの実現 – 社会増への転換 –

### ① 起業なら富山！ 創業・移住支援事業 4,800万円

地域活性化に貢献するビジネスの起業・移住に必要な経費を助成（中山間地域での起業・移住の助成額を新設）

### ② 広域連携移住プロモーション事業 1,000万円

北陸新幹線の沿線5県や北陸3県と連携した移住フェアを東京圏や関西圏で実施

### ③ とやま移住者マッチングツアー開催事業 400万円

移住検討者に「働きながら暮らす」体験プログラムを提供し、具体的な移住の検討を促進

### ④ 移住者目線による暮らしの魅力発信事業 410万円

地域おこし協力隊制度を活用し、移住者目線による本県の魅力をSNS等を用いて発信

### ⑤ 世界遺産登録30周年記念「世界遺産サミット in 南砺」開催事業 200万円

「白川郷・五箇山の合掌造り集落」世界遺産登録30周年を記念し、県、市等で構成する実行委員会による世界遺産サミットを開催

### ⑥ 「富山で働こう」キャンペーン事業 2,900万円

若年層の中途人材の全国的な獲得競争の激化を踏まえ、首都圏で働く若者に対して県内企業での就職を促すキャンペーンを実施

### ⑦ 企業誘致戦略推進事業 870万円

企業誘致の戦略的な推進に向けた会議の創設や誘致プロモーション活動等を実施



移住フェア



五箇山の合掌造り集落

# 人口未来構想と「人口未来戦略」提言の推進

## 多様な人材が活躍して成長できるとやまの実現

### ① 帰ってこられ！就職応援助成事業 680万円

県外学生のUIターン就職を促進するため、県内での就職活動に要する交通費の支援上限額を2万円に倍増（現行：1万円）

### ② 外国人材活躍・多文化共生推進プラン改訂事業 186万円

プランの改訂（令和8年3月予定）に向けた有識者会議を開催するとともに、条例の制定に向けた検討等

### ③ 外国人材の活用と定着の促進

- ・県内企業における高度外国人材等の活用・定着を促進するため、「とやま外国人材活用・定着支援デスク」として機能を強化（932万円）
- ・外国人材の県内定着を図るため、企業が行う日本語習得や働きやすい職場環境整備などに対する総合的な支援を新たに実施（690万円）
- ・外国人の介護人材を確保するため、介護福祉士養成校や介護事業所が行う海外現地における人材確保の取組みに対する支援を実施（420万円）

### ④ 元気高齢者による介護助手マッチング支援事業 690万円

元気な高齢者の社会進出や生きがいづくりの創出と介護現場の人材不足の解消に向けて、介護助手制度の普及を支援

### ⑤ セカンドキャリア応援！農業経営継承事業 1,360万円

激減する担い手を確保するため、経営を継承する50代の新規就農者に対し、継承前研修中の生活資金補助や継承時の農業用機械・施設の導入を支援

### ⑥ 建設みらい人材活躍支援事業 460万円

建設業における技術者不足や業務負担の解消を図るため、ITとコミュニケーションスキルで現場を支える新しい人材育成を支援

### ⑦ 公共交通人材確保・定着事業 1,680万円

公共交通サービスの維持のため、運転手等の人材の確保・定着に向けた取組みを実施



介護現場での外国人材の活躍

# 人口未来構想と「人口未来戦略」提言の推進

## 安心して快適に過ごせるとやまの実現 – 地域の総合力アップーなど

### ① 安全・安心な地域の見守り強化

- ・行方不明者の搜索活動や犯罪捜査等に活用するため、県除雪情報システムのカメラ映像をリアルタイムで把握できるようにシステムを整備（340万円）
- ・住民の安全・安心を確保するため、警察署と交番をつなぐネットワークカメラ等を整備（580万円）

### ② 中山間地域チャレンジ支援事業 1,675万円

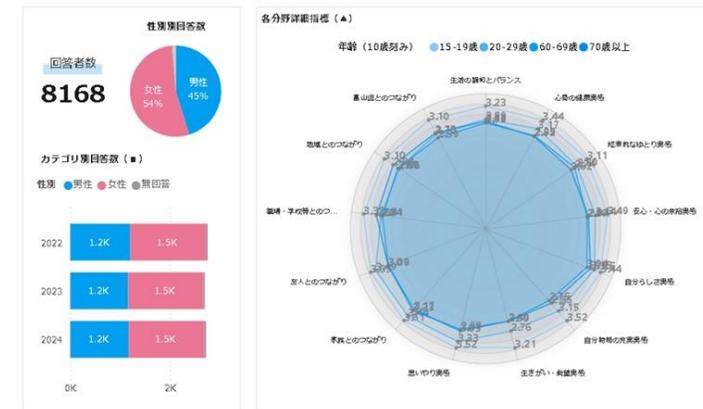
中山間地域の活性化のため、集落や団体、企業等が行う地域の課題解決や活性化に資する試行的な活動を支援

### ③ ウェルビーイング推進事業 1,950万円

情報発信の強化や県民参加による事業展開を通じ、「自分ごと」としてウェルビーイングを高める行動を促進

### ④ ウェルビーイングデータ活用促進事業 1,000万円

ウェルビーイング指標データの民間活用等を促すため、ウェルビーイング指標データベースを一般公開



ウェルビーイング指標データの活用

### ⑤ 持続可能な行政サービスのあり方に関する検討会（仮称）開催事業 500万円

人口減少や少子高齢化が進む中、多様化する県民ニーズ等に対応するため、持続可能な行政サービスのあり方に関する検討会を開催

### ⑥ 新総合計画策定事業 1,970万円

新たな総合計画を策定するため、富山県総合計画審議会や関係団体との意見交換会、県民とのワークショップ等を開催

# 人口未来構想と「人口未来戦略」提言の推進

## 関係人口の拡大・深化

### ①大阪・関西万博出展事業 7,580万円

2025年大阪・関西万博のテーマウィーク「健康とウェルビーイング」への出展（R7.6.27～29）及び県内での万博機運の醸成



万博出展イメージ

### ②「寿司といえば、富山」のブランディングの推進

- ・寿司のブランディングの新たな担い手を育成・確保するため、民間事業者が行う寿司職人養成学校の設立を支援（1億5,564万円）
- ・県鮭商生活衛生同業組合等と連携し、寿司店と若手寿司職人との就職マッチングを支援（682万円）
- ・黒部ダムでの情報発信イベント等の開催やWebサイト、SNS等による国内外への富山の寿司の魅力の発信（1,215万円）等



### ③スポーツコミッション活動事業 3,000万円

関係人口の創出や地域活性化を推進するため、県や市町村、スポーツ団体、民間企業等が一体となった県版スポーツコミッションを設立・運営

### ④県総合運動公園を拠点とした関係人口創出事業 1億円

観客席等の設備を更新し、カターレ富山のホームゲーム等の観戦のため訪れる方々への満足度を向上



### ⑤富山県人会世界大会開催事業 4,050万円

県や県人会の相互ネットワークを構築・強化し、国内外の県人会に本県魅力を発信するため、「富山県人会世界大会」を開催

### ⑥富山“Re-Design”ラボ事業 700万円

大都市圏で活躍する中核人材が半年間富山に移り住み、リカレント教育を受けながら、県内企業の課題を解決する取組みを拡充

### ⑦とやま農村Life推進事業 2,330万円

農業・農村や援農を入り口として関係人口の拡大を図るため、県内の農村地域における田舎暮らし体験など都市農村交流を推進

## ① こどもの権利に関する条例（仮称）の検討

- ・こどもの権利に関する条例（仮称）の制定に向けた有識者会議の開催等（50万円）
- ・こどもの意見を施策に反映させるため、こどもの意見を聴く意見交換会を開催（50万円）

## ② 「こどもまんなか社会」普及啓発事業 350万円

こどもまんなか社会の実現に向けた気運の醸成のため、国や民間企業等と連携してシンポジウムを開催

## ③ 安心な妊娠出産包括支援推進事業 125万円

遠方の分娩施設で出産する妊婦への交通費等の支援など妊産婦が安心して妊娠、出産できるよう支援体制を構築

## ④ こども医療費助成事業 12億3,000万円

県と市町村が連携して、こども・子育て施策の充実に取り組むため、こども医療費助成制度を拡充（対象を小学生まで拡充し、自己負担を撤廃）

## ⑤ 子育て支援ポイント制度事業 1億9,971万円

出産から子育て期まで切れ目のない支援を実現するため、1歳半時に子育て支援サービスに利用できる3万円分の電子ポイントを付与

## ⑥ 私立高等学校生徒奨学支援事業 2億4,944万円

経済的な理由により進路選択の希望を諦めることのない環境づくりのため、国の無償化の対象外となる年収590～910万円未満の世帯に対し、国の就学支援金に加え、県独自で授業料を支援（令和8年度の新入生からは段階的に授業料を実質無償化）

## ⑦ 新川こども施設整備・運営事業 2億3,813万円【R⑥.2補正】

新川こども施設に係る設計や工事、開業後の運営を含むPFI事業の実施



こども意見表明交流会



## ①こども総合サポートプラザ運営事業 3,954万円

いじめや不登校など様々な悩みや課題を抱えるこどもや家庭からの相談に幅広く対応する「富山県こども総合サポートプラザ」を運営（R7.4月開設）

## ②こども安心センター（仮称）整備事業 10億6,650万円（R⑧債務負担行為設定24億7,030万円）

令和8年度末頃の完成に向けた富山児童相談所等の新築工事と新設する児童心理治療施設の運営方法等の実地研修の実施等

## ③児童相談所の法的対応機能強化事業 930万円

改正児童福祉法の施行（R7.6月～）に伴い開始する「一時保護時の司法審査」に係る相談体制の構築等



## ④こどもの居場所づくり支援事業 400万円

様々な困難を抱えるこどもの居場所を運営する民間団体の取組みを支援するほか、フリースクール等の運営実態調査を実施

## ⑤ひとり親家庭応援事業 7,000万円【R⑥.2補正】

低所得のひとり親家庭に対し、食料品や日用品の購入に利用できる電子ポイント（1万円分）を付与

## ⑥難聴児支援体制整備事業 800万円

難聴児の早期発見と早期療育を推進するための中核的拠点として「富山県難聴児支援センター」を新設

## ⑦困難を抱える女性とこどもの支援に関する実態調査事業 100万円

困難な問題を抱える女性とこどもの中長期支援の実態と支援ニーズの調査



こども安心センター（仮称）施設

# 学校教育の充実と教育改革の推進

## ① 高等学校学習者用端末購入等支援事業 7,150万円

県立高校において保護者負担へ移行する1人1台端末の購入等への支援（住民税非課税世帯等への端末貸与、多子世帯等への支援金の支給）

## ② 学習用ネットワーク環境整備費 8億1,910万円（R⑧～⑫債務負担行為設定1億5,240万円）

生徒の学習環境の向上を図るため、県立学校における学習用Wi-Fi環境の再構築等を実施

## ③ 次世代創出PBL推進事業 3,366万円

グローバルな視点で課題を捉え、その解決策を実践する地域の人材を育成するため、県立学校において海外での研修など探究型・課題解決型学習を実施

## ④ スクールソーシャルワーカー活用事業 3,652万円

児童生徒の置かれている環境へ働きかけて問題解決を図るスクールソーシャルワーカーの小中学校における配置時間を拡充

## ⑤ 校内教育支援センター整備支援事業 970万円

不登校の未然防止を図るため、新たに校内教育支援センターを設置する市町村を支援

## ⑥ 小学校新規採用教員サポート事業 1億8,400万円

小学校の学級担任となる新規採用教員の負担を軽減するため、専門性の高い教科指導を行うサポート教員を新たに配置

## ⑦ 「開かれた教職」のための外部人材活用事業 1,050万円

本県の将来を担う職業人材の育成に向けて、県立高校の職業科に民間企業等の外部人材を試行的に配置

## ⑧ 魅力と活力ある県立高校整備等推進事業 289万円

県立高校の方向性を示す基本方針を踏まえた議論・検討と南砺平高校の全国募集における広報活動等の実施



## ①「とやまこどもサミット」開催事業 120万円

こどもたちが「富山・金沢こどもサミット」の宣言に基づく取組みを県内に発信・共有するためのサミットを開催



富山・金沢こどもサミット

## ②未来を拓くとやまグローバル人材育成事業 470万円

地域の課題に対しグローバルな視点で主体的に取り組む人材育成を図るため、高校生の海外留学を産学官一体で支援

## ③国際ナショナルスクール・サマースクール開催支援事業 200万円

県内の児童生徒のグローバル意識を醸成するため、国際バカロレア等に取り組んでいる国際ナショナルスクールのサマースクールの県内開催を支援

## ④理工系分野にチャレンジ！「中高生×富山で働く女性」交流促進事業 350万円

進学や就職前の中高生のキャリアプランに県内の理工系分野の職種を選択肢に入れてもらうため、企業見学バスツアーや富山で働く女性との交流会を開催



中高生×富山で働く女性との交流会

## ⑤県立大学における人材育成

- ・情報工学部の新棟の供用開始（R8.4月予定）に向けて、新棟や研究機材を整備（14億2,186万円）
- ・海外の学生からも選ばれる大学を目指して、新たにインド・アンドラ大学との学術交流を実施するなど国際化を推進（1,920万円）

## ⑥公立夜間中学設置準備事業 160万円

公立夜間中学の設置検討協議会の開催や教育課程の検討など、設置に向けた準備を実施

## ⑦事業承継つなぐサポート事業 1,100万円

中小企業の技術や雇用などの経営資源を次世代に引き継ぐため、事業承継に要する経費の助成等を実施

## ① 女性の活躍促進官民連携事業 770万円

女性が働きやすい職場環境づくりを推進するため、「女性の活躍促進官民連携会議」を新たに設立し、優れた取組みの横展開を実施

## ② 大学生キャリア形成の変容に係る意識調査事業 180万円

県外に進学した本県出身の女子学生の就職やキャリア形成に関する意識の変容過程や原因を探る調査を実施

## ③ アンコンシャスバイアス・アンバサダー強化事業 400万円

職場や地域、学校におけるアンコンシャス・バイアスへの気づきと解消を図るため、新たにアンバサダーによる普及啓発等を実施

## ④ 地域日本語教育体制整備事業 885万円

外国人が生活等に必要な日本語能力を身につけ、地域社会の一員として安心して生活し活躍できるよう日本語教育環境を充実

## ⑤ 認知症共生社会推進事業 100万円

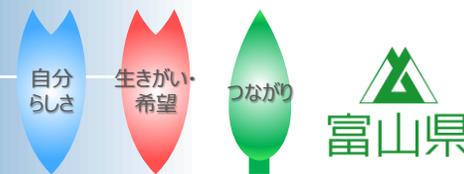
認知症になっても自分らしく生活できる共生社会の実現に向けて、県認知症施策推進計画を策定し、認知症本人大使（仮称）による普及啓発を実施

## ⑥ 農福連携&食とアートのインクルーシブマルシェ開催事業 300万円

障害者の賃金（工賃）向上と障害者アートの振興を図るため、農福連携による食品や雑貨の販売、障害者アートの展示イベント等を開催



# スタートアップへの支援など



## ①とやまヘルスケアベンチャーイニシアティブ推進事業 350万円

本県が強みを持つ医薬、バイオ、健康、美容等のヘルスケア分野におけるスタートアップ（ヘルスケアベンチャー）の誘致等

## ②とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業 5,700万円

スタートアップエコシステムの形成に向け、スタートアップ案件の発掘やハンズオン支援、県内企業・団体の機運醸成等を実施



## ③イントレプレナー推進事業 400万円

企業内資源等を活用したスタートアップや後継者がイノベーション等の新領域に挑戦するアトツギベンチャーの創出を図るため、イントレプレナー（社内起業家）を育成

## ④中小企業成長応援ファンド事業 30億円

県内の金融機関と県が一体となって中小企業成長応援ファンドを造成し、中小企業の新規事業展開や販路開拓等の取組みを支援（R8～）

## ⑤バイオ医薬品製造等人材育成事業 8,000万円

製薬企業におけるバイオ医薬品専門人材の育成を推進するため、県立大学に寄附講座を設置し、バイオ医薬品の製造やGMPに関する研究・教育を充実

## ⑥もっと楽しく有機栽培促進事業 960万円

水稻有機栽培の省力化技術を体系化し、大規模経営体や集落営農組織等での有機農業転換を促進

## ⑦林業イノベーション推進総合対策事業 2,050万円

スマート林業を普及するため、ICT等の活用による木材生産などの効率化、省力化を段階的に実証



## ①介護テクノロジー導入支援事業 3億8,800万円【R⑥.2補正】

介護職員の負担軽減と介護人材の確保を図るため、介護ロボットやICT等のテクノロジー機器の導入を支援し、介護現場の生産性を向上

## ②PFSを活用した特定保健指導実施率向上支援事業 990万円（R⑧債務負担行為設定352万円）

特定保健指導の実施率を向上させるため、PFS（成果運動型民間委託）を活用し、市町村の指導体制を支援する事業を実施

## ③こころの居場所づくり事業 490万円

こころに悩みを抱えた若者等の居場所を確保するため、気軽に悩みを相談できるカフェを開設

## ④摂食障害支援拠点病院設置運営事業 300万円

摂食障害患者が早期に適切な支援が受けられるよう、摂食障害支援拠点病院を指定し、拠点病院が行う医療・地域連携の構築に向けた活動を支援

## ⑤高次脳機能障害支援センター機能強化事業 380万円

高次脳機能障害に関する専門知識を持つ人材を育成するための研修会や地域支援ネットワークを構築するための多職種連携協議会を開催

## ⑥勤務環境改善医師派遣等推進事業 4,500万円

長時間労働の多い県内の医療機関に対し、労働時間短縮や医療体制確保のために医師派遣を行う医療機関を支援

## ⑦医療機関・社会福祉施設等の職場環境改善事業 16億9,780万円【R⑥.2補正】

医療機関・社会福祉施設等が人材確保・定着等を図るために実施する生産性向上や職場環境の改善等の取組みを支援

## ⑧戦後80年事業 500万円

戦後80年の節目に際し、「戦時下の暮らし展」の開催規模の拡充や映像制作、若者への周知強化を実施



介護テクノロジーの導入

## ①各文化施設での企画・情報発信等

- ・高志の国文学館において、ウェルビーイングをテーマとする絵てがみを募集、展示（700万円）
- ・立山エリアの文化観光を推進し、観光誘客と地域活性化を図るため、拠点施設である立山博物館の展示の磨き上げや情報発信を強化（5,150万円）
- ・富山県美術館・水墨美術館・立山博物館・高志の国文学館の四館の連携による企画展やイベント等を実施（1,382万円）

## ②富山県武道館の整備 6,600万円（継続費設定R⑦～⑨89億6,115万円）

## ③県総合運動公園における民間活力導入社会実験等調査事業 600万円

富山県総合運動公園の更なる魅力向上のため、社会実験（トライアルサウンディング）を実施し、民間活力の導入に向けた市場性・採算性等を調査

## ④富山マラソン大会開催事業 9,642万円

スポーツの振興や富山県の魅力発信、関係人口の拡大を目的として、第10回となる「富山マラソン2025」を開催

## ⑤スキーモーグルワールドカップ開催支援事業 1,000万円

ミラノ・コルティナ2026オリンピック冬季競技大会後のスキーモーグルワールドカップの県内初開催を支援

## ⑥ボールシティとやまプロジェクト支援事業 1,250万円

令和8年に本県で開催されるプロ野球オールスターゲームを契機とした地域活性化の取組みを支援

## ⑦伝統工芸産地人材育成支援事業 830万円

伝統産業の人手不足の解消や商品等のプロデュース力の向上を図るため、とやま伝統産業プロデューサー人材育成プログラム等を実施



## ① 官民連携による課題解決型オンラインコミュニティ推進事業 215万円

県政の課題解決にあたり若年層の意見を広く取り入れるため、オンラインコミュニティを活用した広聴を実施

## ② 伝わる・巻き込む広報推進事業 530万円

県民に広く「伝わる広報」「親しみやすい広報」を目指して、職員と大学生等が協働し、広報手法を検討・発信するなど、県政の情報発信力を強化

## ③ 職員育成・エンゲージメント向上支援事業 2,300万円 (R⑧～⑩債務負担行為設定3,300万円)

県職員の人材育成のため、スキルや経験などの情報を一元的に管理するマネジメントシステムの導入や職員のエンゲージメント向上調査等を実施

## ④ チャレンジコンテスト事業 400万円

職員の施策立案能力やチャレンジ意欲の向上を図るため、職員を対象に事業提案を募るチャレンジコンテストを実施

## ⑤ 県職員採用試験制度強化事業 760万円

県職員の人材確保を図るため、対象年齢を拡大した社会人経験枠を創設するなど採用試験制度を見直し

## ⑥ カスタマーハラスメント対策電話設備整備費 5,500万円

県職員へのカスタマーハラスメント対策として電話設備に通話録音機能等を導入



県職員による情報発信  
コンテンツ「DIVE!とやま」

# インフラ・県土強靱化の推進

予算規模（1 1月補正・2月補正を含む。）

- ◆ **公共事業約889億円**（R6比 93.5%）能登半島地震の復旧経費を除き、前年度を上回る規模を確保
- ◆ **主要県単独事業約194億円**（R6比 92.6%）資材・労務等の単価上昇に対応

## 県民と県土を「守る」

- ① **河川・海岸・砂防事業 96.9億円**  
堤防、離岸堤、砂防堰堤の整備 など
- ② **農地防災事業・治山事業 74.7億円**  
防災重点農業用ため池、農業用水路の安全対策、治山施設の整備 など

## 魅力ある日々の暮らしを「支える」

- ① **人にやさしいみちづくり 167.4億円**  
通学路など歩道の整備、消雪施設、道路除雪、道路防災対策 など
- ② **都市基盤の整備 55.5億円**  
富山駅付近連続立体交差事業、都市公園の計画的な整備・更新 など

## 人口減少を見据え未来のインフラを「創る」

- ① **インフラの老朽化対策 177.6億円**  
橋梁、トンネル、ダム、港湾施設などの定期点検及び計画的な修繕・更新など
- ② **道路ネットワークの整備 39.4億円**  
県道高岡環状線、県道富山立山公園線 など
- ③ **港湾・漁港の整備 30.3億円**  
臨港道路伏木外港1号線、漁港施設の整備 など

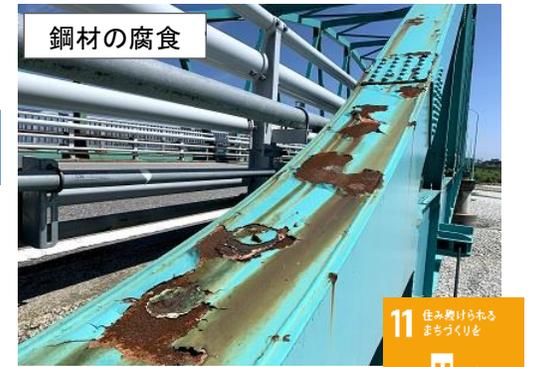
## 県立高校や県有施設

各種施設の維持修繕に加え、特別教室への空調整備や交通安全施設の改良整備を計画的に推進

**30.5億円**



ため池の整備例(谷内白山池地区)



鋼材の腐食  
県道魚津生地入善線  
下黒部橋の老朽化対策

# (参考) 社会資本整備の主な箇所

## 東海北陸自動車道の4車線化の推進

〈中日本高速道路株式会社〉

福光IC～南砺スマートIC  
五箇山IC～城端スマートIC  
白川郷IC～五箇山IC



4車線化の事業中区分

## 国直轄事業の推進

〈国土交通省、農林水産省〉

富山高山連絡道路 (猪谷榆原道路, 大沢野富山南道路)  
富山外郭環状道路 (豊田新屋立体, 中島本郷立体)  
高岡環状道路 (六家立体)  
国道8号 (入善黒部バイパス, 倶利伽羅防災, 富山朝日防災)  
伏木富山港 (伏木地区北防波堤の老朽化対策など)  
神通川、利賀ダム、立山砂防  
国営農地再編整備事業 (水橋地区) など



国道8号豊田新屋立体

## 県民と県土を「守る」

### ○河川・海岸・砂防事業

・河川 泉川(氷見)、坪野川(富山)、鴨川(魚津)  
白岩川(立山・上市) 護岸の修繕や浚渫・伐木 など  
・海岸 富山海岸(富山) など  
・砂防 池川(南砺)など

### ○農地防災事業・治山事業

・農地防災 針山口六ヶ用水一期地区(高岡ほか)  
打尾谷ため池地区 (南砺) など  
・治山 八尾町三田(富山) など



白岩川 (R5.6豪雨による越水)



八尾町三田 (R5.7豪雨による山腹崩壊)

## 人口減少を見据え未来のインフラを「創る」

### ○インフラの老朽化対策

・橋梁、トンネル、河川管理施設、ダム、砂防関係施設  
下水道施設などの点検・修繕・更新  
・県道富山魚津線 今川橋の架替(富山) など

### ○道路ネットワークの整備

県道高岡環状線(高岡)  
県道富山立山公園線(立山)  
県道魚津生地入善線(魚津-黒部) など

### ○港湾・漁港の整備

・港湾 臨港道路伏木外港1号線(高岡) など  
・漁港 新湊漁港(射水)の岸壁整備など



橋梁の老朽化対策

(県道八幡田稲荷線 稲荷町跨線橋の損傷状況)



県道高岡環状線

## 魅力ある日々の暮らしを「支える」

### ○人にやさしいみちづくり

・歩道整備 県道砺波小矢部線(小矢部) など  
・消雪施設 県道上飯野入善停車場線(入善) など  
・斜面对策 国道156号(砺波-南砺) など

### ○都市基盤の整備

富山駅付近連続立体交差事業(富山)  
太閤山ランド(射水)、(都)駅前栄町線(砺波)など

### ○市街地再開発事業

中央通りD北地区(富山)

### ○農地整備事業

町袋地区(富山) など

### ○農業用水路の安全対策

網蓋・看板設置等 県内20地区への支援 など



富山駅付近連続立体交差事業 (富山地方鉄道本線)

# 安心で持続可能なまちづくりと公共交通

## ① 県庁周辺エリアマネジメント推進事業 1,850万円

県庁周辺エリアの「ありたい姿」の実現に向けた基本構想の策定とNHK跡地の暫定活用を実施

## ② 砺波エリア新警察署整備費 5億6,000万円

砺波エリアにおける新警察署の整備に向けて、実施設計や土地の造成工事等を実施

## ③ 富山中央警察署水橋交番移転新築整備費 9,800万円

老朽化の著しい、富山中央警察署水橋交番の移転新築工事を実施

## ④ 性暴力被害ワンストップ支援センターとやま運営事業 3,320万円

相談件数の増加や支援ニーズの変化に対応するため、性暴力被害ワンストップ支援センターとやまの人員配置と医療費支援の対象を拡充

## ⑤ ツキノワグマやニホンザル対策の推進

- ・ツキノワグマによる人身被害を防止するための専門チームによる捕獲等を実施（3,550万円）
- ・ニホンザルによる被害防止と捕獲管理体制の強化を図るため、効率的に捕獲する手法を学ぶ研修会を開催（200万円）等

## ⑥ 城端線・氷見線再構築事業 7億4,520万円【一部R⑥.11補正】

再構築実施計画に基づきJR西日本が実施する利便性・快適性の向上を図る整備や、必要な調査等を支援

## ⑦ 富山地方鉄道安全性・快適性向上事業 1億5,220万円

富山地方鉄道による鉄道の安全性・快適性の向上を促進するため、沿線市町村と連携して支援

## ⑧ 富山空港の活性化

- ・富山空港におけるコンセッション事業開始に向けて、事業者との契約手続きや空港運営事業等の開始に向けた準備等を実施（5,900万円）
- ・台北便の定期便再開に向けて、アウトバウンド旅客需要を喚起するための取組みを実施（400万円）
- ・大連便のアウトバウンド旅客需要を喚起するため、県内の報道機関を対象としたメディアファムツアーを実施（200万円）



県庁周辺エリア



城端線・氷見線

# 新産業戦略の推進



## ① 新たな成長産業の創出

- ・ものづくり産業未来戦略に基づく成長産業分野やサーキュラーエコノミーに関する新製品・新技術の研究開発を支援（9,205万円）
- ・サーキュラーエコノミー推進に向けた普及啓発やクリエイティブ人材を活用した異業種連携（1,600万円）
- ・製薬企業におけるバイオ医薬品専門人材の育成を推進するため、県立大学に寄附講座を設置し、バイオ医薬品の製造やGMPに関する研究・教育を充実（8,000万円）【再掲】

## ② 産学官・企業間連携による新たな付加価値の創出

- ・アルミ産業の振興：循環型アルミ産業網の競争力強化（グリーン化とサーキュラーエコノミー実現）に向けた研究開発・人材育成（4,654万円）
- ・医薬品産業の振興：県内の産学官によるコンソーシアムを構築し、医薬品産業の振興や専門人材の育成を推進（2億1,247万円）
- ・伝統工芸産業の振興：ブランド力や顧客基盤が強い民間企業等の異業種とのコラボレーションにより、新商品開発や販路拡大、魅力発信を推進（800万円）

## ③ 企業の海外展開の促進

- ・T-Messe2025 富山県ものづくり総合見本市の開催（8,000万円）
- ・インド経済デスクの設置、インド進出に係るセミナーや在日インド大使館での富山DAYの開催（555万円）
- ・中国からバイヤーを招聘し、商談成約の可能性が高い県内企業とのマッチング・商談を支援（600万円）

## ④ 中小企業トランスフォーメーション補助金 5億円【R6.11補正】

DXやGXを通して業務プロセスや事業構造の変革による生産性向上を図る取組みを支援

## ⑤ 価格転嫁総合推進事業 700万円

適切な価格転嫁を推進するため、新たに金融機関と連携した支援体制を構築するほか、セミナーや専門家派遣による伴走支援等を実施

## ⑥ 高岡テクノドーム機能拡充事業 5,670万円

本館と別館に整備する機能等の調査結果を踏まえ、高岡テクノドームの別館整備に係る基本設計を実施

## ⑦ 富山の企業魅力発信プロジェクト事業 1,580万円

県内企業の人材確保に向けた魅力発信を強化するため、企業情報サイト「就活ラインとやま」の活用促進や県内企業のインターンシップの開催を支援



ものづくり総合見本市



サーキュラーエコノミーを推進するカンファレンス(創造会議)

# （参考）物価高騰への対応【再掲を含む】



## ①生活支援・消費喚起プロジェクト支援事業 3億円【R⑥.2補正】

県民の消費や暮らしを支え、地域経済の活性化を図るため、商工団体や商店街によるプレミアム商品券の発行などを支援

## ②省エネ家電・機器買い換え促進による生活者支援事業 3億円【R⑥.2補正】

省エネ性能の高い家電・機器の購入者に対し、品目に応じたポイントを付与し、買い換えを促進  
(購入品目に応じて1,000円～60,000円)

## ③ひとり親家庭応援事業 7,000万円【R⑥.2補正】

低所得のひとり親家庭に対し、食料品や日用品の購入に利用できる電子ポイント（1万円分）を付与

## ④価格転嫁総合推進事業 700万円

適切な価格転嫁を推進するため、新たに金融機関と連携した支援体制を構築するほか、セミナーや専門家派遣による伴走支援等を実施

## ⑤富山地方鉄道鉄道線物価高騰対策支援事業 9,690万円

県と沿線市町村が連携して行う富山地方鉄道鉄道線の燃料や資材の高騰に対する支援

## ⑥耕畜連携飼料自給率向上対策事業 2,000万円

耕畜連携により飼料自給率の向上を図るため、県産飼料用稲（稲WCS）の生産・利用に必要な機械の導入を支援



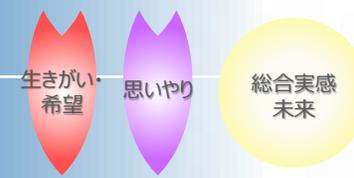
県内の商店街



飼料用稲の収穫



# DX（デジタル化）による変革の推進



## ① 中小企業デジタル変革推進事業 3,100万円

各種の講座の開催等を通じたデジタル化の状況に応じた段階的な支援を実施するとともに、関係機関との連携等による相談・伴走支援体制を強化

## ② 商店街DX推進支援事業 1,000万円【R⑥.2補正】

デジタル地域ポイントやキャッシュレス決済の導入など、商店街のDX化を推進する取組みを支援

## ③ デジポックとやま実証実験プロジェクト事業 3,400万円

先進的なデジタル技術を活用し、地域課題の解決に向けた事例の創出、県内での新しいビジネスモデルの構築を実施

## ④ 農業DX推進事業 4,590万円

農業機械の自動走行等に必要の高精度位置補正の環境整備や施設園芸の環境モニタリングデータの活用促進に向けた取組みを支援



農業用ドローン

## ⑤ 建設業バックオフィス業務DX化推進支援事業 500万円

建設業の生産性向上や働き方改革に向け、建設企業が取り組む事務作業のDX化への支援や建設企業向けの研修会の開催

## ⑥ 手数料収納窓口整備事業 2,870万円

県民の利便性を確保するため、収入証紙廃止に伴う代替手段の確保に向けてキャッシュレスなど多様な納付方法が可能な収納窓口を整備

## ⑦ 地方税共通納税システムを活用した公金収納のデジタル化推進事業 1,430万円

県民の利便性向上のため、行政財産の使用料等の公金収納について、キャッシュレスなど多様な納付方法を可能とするためのシステム改修



# カーボンニュートラルなどGXの推進

## ① 富山型高性能住宅推進事業 5,530万円

住宅分野でのカーボンニュートラルの実現やウェルビーイングの向上に向け、ZEH水準を上回る富山県独自基準を満たす高性能住宅の工事費等に対する支援等

## ② 省エネ家電・機器買い換え促進による生活者支援事業 3億円【R⑥.2補正】

省エネ性能の高い家電・機器の購入者に対し、品目に応じたポイントを付与し、買い換えを促進（購入品目に応じて1,000円～60,000円）

第3弾  
キャンペーン

## ③ EV導入促進事業 3,500万円

EV（電気自動車）の普及拡大に向けて、個人・事業者によるEV導入への支援と商業施設、集合住宅等での充電設備の導入を支援

## ④ 再生可能エネルギー等導入促進事業 1億2,093万円

県民や県内中小企業を対象に、太陽光発電設備など再生可能エネルギー設備や省エネ設備の導入に要する経費を支援

## ⑤ 県有施設のLED化と公用の電気自動車導入の推進 5億9,960万円

県有施設照明のLED化と公用車の電気自動車への更新を計画的に推進

## ⑥ 県営水力発電所リプレース事業 67億8,900万円

県内の3発電所（庄東第一、大長谷第二、仁歩）について固定価格買取制度を活用したリプレース（全面的更新）を実施

## ⑦ 地熱バイナリー発電可能性調査事業 1,800万円

魚津地域においてバイナリー方式による地熱発電の導入に向けた事業スキームの検討と事業採算性の評価を実施



# 観光振興による誘客促進

## ① インバウンド・ハイエンド層誘客促進事業 1,440万円

インバウンド観光客のうち特に消費の旺盛なハイエンド層をターゲットとしたプロモーションを展開

## ② 欧米豪からの誘客促進、観光プロモーションの推進

- ・観光レップによる情報収集、旅行会社・メディア招聘など現地プロモーションを強化（4,420万円）
- ・アメリカ・フランスでの認知度向上のための観光PRイベントを開催（4,300万円）

## ③ 国内ランドオペレーター向け誘客促進事業 581万円

高付加価値旅行者、欧米豪を対象とする首都圏等のランドオペレーターへのセールスを強化

## ④ 富山・高山インバウンド周遊促進事業 1,300万円

富山と高山の周遊を促進するため、ジャパンレールパスを活用したPRの取組みを実施

## ⑤ 高付加価値宿泊施設整備支援制度の創設

高付加価値旅行者向け宿泊施設の整備の支援制度を創設し、宿泊施設の誘致を推進

## ⑥ 北陸への観光誘客のための魅力発信

- ・Webマーケティングに基づき、観光公式サイトや公式SNSを戦略的に運用し、観光情報を発信（2,766万円）
- ・マスメディアを活用した情報発信など北陸三県が連携して様々なプロモーションを展開（1,000万円）【再掲】
- ・首都圏での北陸三県等による合同物産展や包括連携企業と連携した物産展の開催・観光PR（550万円）

## ⑦ 富山県観光実態調査事業 1,100万円

本県観光を取り巻く環境の変化を踏まえた課題やニーズ等を整理するための調査を実施

## ⑧ 地域おこし協力隊を活用した観光推進事業 820万円

観光地域づくりの担い手育成等を図るため、観光分野における地域おこし協力隊を活用した取組みを推進



海外プロモーション



北陸観光PR会議

# 農林水産業の振興



## ①とやまの農林水産物輸出促進事業 2億2,090万円

新たな地域商社の育成、北米など新市場や他県と連携した欧州等でのプロモーションなどを実施



海外でのプロモーション(フランス)

## ②「富富富」生産振興対策事業 8,810万円

「富富富」の生産拡大モデル産地の育成や乾燥調製施設の改修等を支援し、温暖化に対応した米産地へ転換

## ③農業の担い手確保・育成

- ・集落営農組織の世代交代や若者の就業促進、少人数大規模経営などに取り組む広域連携組織のモデルづくりを支援(4,410万円)
- ・就農希望者の呼び込みや先輩農家による研修等を実施し、新規就農者の受入体制整備に取り組む地域を支援(3,200万円)
- ・女性が働きやすい環境整備やリーダーとして活躍する女性の育成を支援(600万円)
- ・とやま農業未来カレッジにおいて現行の通年研修に加え、園芸経営実践コースの新設や経営体向けの短期研修の開催など研修体制を強化(7,800万円)



高温耐性品種「富富富」

## ④中山間地域づくり支援事業 9億7,870万円【一部R⑥.2月補正】

中山間地域における継続的な農業生産や棚田保全活動、農村RMOの形成等の取組みを支援

## ⑤森林資源の循環利用の加速化

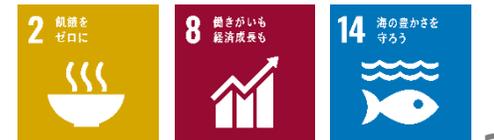
- ・主伐・再造林を進めるため、路網や木材加工施設の整備など川上から川下まで総合的に支援【一部R⑥.2月補正】(7億6,114万円)
- ・県産材の利用拡大を図るため、民間建築物での県産材の需要拡大などウッド・チェンジを推進(950万円)



農村RMOによる地域交流拠点整備

## ⑥能登半島地震による富山湾の影響調査と水産資源調査体制の強化

- ・能登半島地震後の富山湾における海洋環境や水産資源の回復状況を把握するための調査を実施(580万円)【再掲】
- ・漁業調査船「立山丸」の代船建造のための基本設計を実施(1,000万円)



# 市町村との連携促進

## ①「ワンチームとやま」連携推進事業 100万円

県と市町村の連携協力体制を強化し、行政課題の解決に向けた取組みを推進

## ②まちづくり総合支援事業 1億円

市町村や民間事業者が地域の特色を活かして取り組むまちづくりを支援

## ③サービス連携プラットフォーム利活用推進事業 4,545万円【一部R⑥.2補正】

県や市町村、民間事業者が提供する生活等に役立つアプリやサービスの連携促進とポイントアプリ「TOYAMA ONE Wallet」事務局の設置

## ④データ連携基盤利活用推進事業 2,380万円

県民や民間事業者にとって有用となるデータの提供を推進するため、データを一元的に収集・集約し、地図上に可視化して閲覧する機能等を付与

## ⑤富山で輝け！地域おこし協力隊受入促進事業 1,315万円

地域おこし協力隊の県内での受入を促進するため、新たに地域おこし協力隊受入促進サポーターを委嘱し、県内で活躍する隊員を県外に情報発信等

## ⑥持続可能な魅力ある田園地域創出事業 1,250万円

田園地域に人を呼び込む地域資源の磨き上げや生業の創出に向けた実証実験等を実施



ワンチームとやま連携推進本部会議